

経営協議会報

総務部 総務課

平成16年7月16日（金） 経営協議会

審議事項

(1) 役員の報酬規程及び退職手当規程の一部改正（案）について

人事課長から、「役員の報酬規程及び退職手当規程の一部改正（案）」について資料に基づき説明があった。

・委員から「学長の勤務実績については、琉球大学の評価委員会で定めた方が良いと思うが予定はあるのか。」との質問があり、総務部長から、「今後検討し、透明性を確保したい。」との発言があった。

・委員から、「役員の業績は常に文部科学省へ報告されるのか。」との質問があり、人事課長から、「国立大学法人評価委員会では、役員の個別的な評価は行わないが、中期目標や年度計画の達成度等により、各担当理事の業績評価を学長が行い、期末特別手当の100分の10の範囲内での増減へ反映させることになっている。」との発言があった。

・委員から、「企業の場合は、業績等は損益ではっきりするが、本学の場合は何か指標があるか。」との質問があり、学長から、「現在のところ、定めてないが、大学評価学位授与機構及び大学基準協会、文部科学省等で評価システムについて検討がなされている。」との発言があり、続いて、総務部長から、「年度計画の達成度がそれぞれ役員の業績評価になる。」との発言があった。

・委員から、「年度計画の評価については、項目毎の評価があるのか。」との質問があり、大元理事から、「文部科学省等において、各大学から提出されている年度計画の1項目毎に評価するのか、総括的な形で評価するのか現在検討中である。」との発言があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

(2) その他

特になし

報告事項

(1) 年度計画について

大元理事から「年度計画」について、資料に基づき報告があった。

・委員から、「年度計画は、学部毎もしくは各理事ごとに整理しているのか。」との質問があり、大元理事から、「大学全体で取り組むように、総括的な形で作成している。」との発言があった。

・委員から、「本年度から始めるものなのか、単年度に終わるのか。」との質問があり、大元理事から、「単年度で終了するものもあれば、6年間の中期目標で終了するものもある。また、場合によっては中期目標期間中に終了しないものについては、平成17年度以後の年度計画の中で検討していく必要がある。」との発言があった。

・委員から、「教育研究評議会の下に、委員会を設けて中期目標・中期計画が達成できるようにした方がよいのではないか。」との意見があった。

(2) 平成17年度概算要求について

古謝理事から「平成17年度概算要求」について、資料に基づき報告があった。また、財務企画課長から、「平成17年度運営費交付金の効率化対象額1%として約1億円と附属病院の経営改善分2%として約2億円が減額されることとなっている。特別教育研究経費に約1.1億円要求しているが、配分額については未定であり、各項目の数字はこのとおりにはならない見通しである。」との発言があった。

(3) その他

①観光科学科について

学長から、観光科学科の概算要求内容について報告があった。

なお、現在、2名の教員の公募に対して、17名の応募があったことも報告された。

②国際観光シンポジウムについて

嘉数理事から、7月17日(土)に「メルパルク沖縄」で開催される「国際観光シンポジウム—観光産業と人材育成—」について案内があった。

③平成16年度21世紀COEプログラムについて

学長から、平成16年度21世紀COEプログラムへ本学から申請していた「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」が採択された旨の報告があった。

・委員から、「研究の拠点形成のため、是非、研究成果を出して頂きたい。」との要望があった。

・委員から、「COEに関連して、概算要求の中で、本学が取り組むべき重点的事項が多すぎる印象があるので、もっと絞り込みを行い、異分野の教員も含めて研究テーマを構築してはどうか。また、観光科学科の設置が、中期目標には記載されていないが、今後は国の施策を見据えて、中期目標・中期計画にはっきり記載し、そして、その目標が達成することで評価が高くなるのではないか。」との意見があり、学長から、「全学的な教員人事を今後検討する予定であるが、今回採択されたCOEには異分野の教員が参加している。また、国及び世界の状況を見据えた目標作りを考慮していきたい。」との発言があった。